

中部ESD拠点運営委員会（第21回）議事メモ

日 時 平成21年10月22日（木）18時30分～20時30分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C号室）

出席者 竹内委員長、寺井、高山、の各委員

事務局 永田、古澤、岡本

議 事

1. 報告事項

1) 「第3回中部ESD拠点連続講座」について

古澤事務局員より、9月29日に開催された第3回中部ESD拠点連続講座が無事終了した旨が報告された。会は、「伊勢・三河湾流域圏におけるグッド・プラクティスの共有化とサイバー対話－第3回伊勢・三河湾流域圏ESDフォーラムに向けて」というタイトルで開催され、羽後委員・武者小路委員が話題提供を行った後、コメンテーターの木村正彦氏（愛知県技術士会）と共に、討論を行った。

2) 「第13回ESDに関する関係機関情報交換会議」について

古澤事務局員より、9月25日に国立教育政策研究所にて開催された「第13回ESDに関する関係機関情報交換会議」の参加報告があった。

2. 助成金申請について（モリコロ基金・トヨタ財団）

1) 「あいちモリコロ基金」助成金への応募申請に関して

10月31日〆切り（消印有効）に向けて、申請における活動内容や申請者リスト、予算書などに関する検討を行い、申請内容に関して種々議論が交わされた。そしてこれらの議論を反映させた申請書（案）を事務局が作成し、10月26日に事務局から運営委員へメールで配信することで、再度各委員から意見を伺うこととした。

2) 「トヨタ財団」助成金への応募申請に関して

11月9日（消印有効）の〆切りに向けて、募集内容の読み合わせ・確認を行い、申請内容に関して種々議論が交わされた。そしてこれらの議論を受けた申請書の素案は竹内委員長が作成し、10月26日までに事務局へメールで送信することとした。

3. 第3回中部ESD拠点総会&フォーラム（12月5日開催予定）について

高山委員の原案を元に、第3回中部ESD拠点総会およびフォーラムの実施に関して、以下のように種々議論が交わされた。

- ・高山委員が以下のような内容・スケジュールを提案。

午前の部

10時～11時 総会 パート1

11時～12時半 伊勢湾流域をめぐるシンポジウム パート2

午後の部

13時半～16時半 経験交流会もしくはESDを理解するワークショップ パート3

懇親会

17時半～19時半 学内のレストランで懇親会 パート4

- ・パート1は運営委員会および事務局が準備を進める。
- ・高山委員は、パート2およびパート4の企画を担当する。
- ・パート2の案としては、テーマを「流域ネットワーク、協働と連携の進め方」とし、コーディネーターを高山委員が担当し、パネラーを、①鶴見川流域ネットワーク、②伊勢・三河流域再生調査、③環境省中部もしくは国交省中部からとし、優れた活動をされている鶴見川流域ネットワークからしっかり学ぶ機会とする。
- ・パート3のワークショップは、羽後委員にコーディネーターを担当していただくことをお願いする。
- ・パート3の内容の案としては、テーマを「多様な団体の発掘と交流」とし、これまで中部ESD拠点フォーラムに報告されていない団体で有意義で多様なESD的活動をされている団体を掘り起こし（会員団体も含めて）、報告していただき、交流を深める。
 - －発表を依頼する団体を以下の通りとする。
 - 一般団体：6団体（愛知、岐阜、三重2ずつが望ましい）
 - 学生団体：6団体（愛知、岐阜、三重2ずつが望ましい）
 - －各団体7～8分の報告+確認で2時間+1時間のワークショップ的なもので交流する。
 - －報告団体（特に学生）には交通費を出す方向で検討する。
- ・「第3回中部ESD拠点フォーラム実行委員会」は、例年通りに拠点参加団体へ呼びかけることとする（実行委員長は高山委員とすることが了承された）
- ・フォーラム実行委員会の会議は、愛知と三重で交互に開催（最大3回）の予定。
- ・拠点総会における表彰に関しては、選考委員会を作って（実質的には運営委員がメンバー）、選考委員が中部ESD拠点参加団体内外から「もっともESDに貢献した団体」という評価基準で推薦する団体を次回運営委員会までに持ち寄り、後日、選考委員会にて決定することとした。

4. 中部ESD拠点連続講座（第4回）の開催について

高山委員より、第4回中部ESD拠点連続講座と総会・フォーラムは切り離して考えることと、第4回連続講座に関しては、来年の2月以降くらいで検討したい旨が提案された。

5. プロジェクト推進の進捗について

◎COP10に向けたRCE連携の打合せ（国内RCEと10月13日開催）について

古澤事務局員より、COP10に向けたRCE連携の打合せ（国内RCEと10月13日開催）が10月13日に開催され、主として以下の2点について確認されたことが、報告された。

- ・RCEの連携企画に関しては、サイバー対話で議論を行い、本会議場でのサイドイベントで実施する。

- ・国内 RCE は、テントスペースを一日確保し、リレー形式で時間割を作り、各国内 RCE で担当する。

6. その他

11月5～7日にRCEデリーをホストとして、第2回アジア太平洋RCE会議が開催されることとなり、中部ESD拠点から、古澤事務局員を派遣することが承認された。

以 上